

平成21年3月期 第2四半期決算短信

平成20年11月6日

上場会社名 株式会社 ハーバー 研究所
 コード番号 4925 URL <http://www.haba.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小柳 昌之
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役人事・経理部担当ディレクタ (氏名) 鍋島 厚
 四半期報告書提出予定日 平成20年11月14日
 上場取引所 JQ TEL 03-5219-5660

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第2四半期の連結業績 (平成20年4月1日～平成20年9月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第2四半期	5,101		175		159		41	
20年3月期第2四半期	5,098	1.2	31	95.3	19	97.0	73	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第2四半期	10.56	
20年3月期第2四半期	24.89	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第2四半期	10,333	4,873	46.4	1,217.61
20年3月期	10,482	4,900	46.0	1,226.21

(参考) 自己資本 21年3月期第2四半期 4,790百万円 20年3月期 4,823百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
20年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期				20.00	20.00
21年3月期(予想)				20.00	20.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想 (平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,500	4.1	835	22.5	800	24.3	380	26.7	96.59

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
 新規 社(社名) 除外 社(社名)
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
 (注) 詳細は、3ページ[定性的情報・財務諸表等] 4. その他 をご覧ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの
 会計基準等の改正に伴う変更 有
 以外の変更 無
 (注) 詳細は、3ページ[定性的情報・財務諸表等] 4. その他 をご覧ください。
- (4) 発行済株式数(普通株式)
 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第2四半期 3,935,000株 20年3月期 3,935,000株
 期末自己株式数 21年3月期第2四半期 1,000株 20年3月期 1,000株
 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第2四半期 3,934,000株 20年3月期第2四半期 2,954,000株

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 業績予想については、現時点で入手可能な情報に基づき当社グループが判断したもので、為替変動等の潜在的なリスクや不確実性が含まれています。この影響のため、実際の業績が記載の見通しとは異なる可能性があります。
- 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しています。また、「四半期連結財務諸表等規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しています。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間の当社グループ連結売上高は、5,101,522千円（前年同期比100.1%）となりました。

本年度は、金融危機に端を発した厳しい経済環境により個人消費が伸び悩み、顧客単価が低下傾向にありますが、ダイエット関連商材の新発売などによる商品の多様化やきめ細かい販促戦略によって売上件数を伸ばすことができ、連結売上高は前年実績を確保する事が出来ました。

商品別には、基礎化粧品は3,311,135千円（前年同期比99.4%）とほぼ前年並みに推移、栄養補助食品・雑貨等では、昨年度に投入したイオンマイエステの新発売効果がなくなった影響があるものの、新発売した「カリカリクッキー」や「スリムエナジー」のダイエット商品が好調に推移、846,130千円（前年同期比104.0%）となりました。

販売ルート別には、主力の通販で売上件数の増加により売上高が若干増加、百貨店などでは減少しています。

売上原価は、工場増設に伴う減価償却費の増加や原材料価格の上昇などにより1,118,148千円（前年同期比111.8%）となっています。

広告販促活動では、積極的なプロモーションを第3四半期以降に行う予定であり、当第2四半期連結累計期間では、1,041,662千円（前年同期比73.3%）、販売費及び一般管理費は3,807,402千円（前年同期比93.6%）となりました。

これらの結果、営業利益は175,971千円（前年同期比558.7%）、経常利益159,510千円（前年同期比821.0%）、四半期純利益は41,555千円（前年同期は73,531千円の純損失）となっております。

品目別実績

（単位：千円）

区分	【参考】 平成19年9月期		平成20年9月期		【参考】 増減額	【参考】 増減率	
	金額	構成比	金額	構成比			
化粧品	基礎化粧品	3,331,236	65.3	3,311,135	64.9	△20,101	△0.6
	メイクアップ化粧品	626,874	12.3	634,051	12.4	7,177	1.1
	トイレタリー	235,752	4.6	215,420	4.2	△20,331	△8.6
	その他（注）1	7,896	0.2	18,003	0.4	10,107	128.0
	小計	4,201,759	82.4	4,178,610	81.9	△23,148	△0.6
栄養補助食品・雑貨等	813,224	16.0	846,130	16.6	32,905	4.0	
化粧品・栄養補助食品等 小計	5,014,983	98.4	5,024,741	98.5	9,757	0.2	
その他（注）2	83,372	1.6	76,781	1.5	△6,591	△7.9	
合計	5,098,356	100.0	5,101,522	100.0	3,166	0.1	

（注）1. 期間を限定して提供するキャンペーンセット品等が主なものです。

2. ハーバーガーデン（ゴルフ練習場、カルチャーセンター等）等の売上が主なものです。

3. 上記の金額には、消費税等は含まれていません。

販売ルート別実績

（単位：千円）

区分	【参考】 平成19年9月期		平成20年9月期		【参考】 増減額	【参考】 増減率	
	金額	構成比	金額	構成比			
販売 ルート	通信販売	3,528,741	70.4	3,579,337	71.2	50,596	1.4
	百貨店向卸売	672,834	13.4	647,548	12.9	△25,286	△3.8
	その他卸売	400,331	8.0	390,927	7.8	△9,404	△2.3
	直営店	413,075	8.2	406,927	8.1	△6,148	△1.5
	合計	5,014,983	100.0	5,024,741	100.0	9,757	0.2

（注）1. 上記の合計表には、ハーバーガーデン等の売上は含まれていません。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれていません。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における総資産は設備の減価償却が進んだ事により10,333,885千円になり、前連結会計年度末と比較して148,874千円の減少となりました。また、負債合計は長期借入金の減少により5,460,732千円となり、前連結会計年度末と比較して121,577千円の減少となりました。

純資産は剰余金の配当等により4,873,153千円となり、前連結会計年度末と比較して27,297千円の減少となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、371,972千円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益136,878千円、減価償却費233,800千円、売上債権の減少300,779千円等による増加とたな卸資産の増加331,970千円等による減少によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、213,946千円となりました。これは主に、工場の生産設備の購入等による支出11,679千円等です。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、180,486千円となりました。これは主に、短期借入金の純増加額259,785千円と長期借入金の返済による支出360,083千円、配当金の支払額78,067千円等によるものです。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年度3月期の業績予想につきましては、第3四半期以降にスクワランを中心とした販促活動を積極化する予定である事や「カリカリクッキー」などのダイエット商材を幅広いチャネルで展開していくことなどから、平成20年5月23日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①固定資産の減価償却費の算定方法

減価償却費の算出は、年間償却予定額を期間按分して算定しています。

②税金費用の計算

当社及び一部の連結子会社は、法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっています。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予想を利用する方法によっています。

また、一部の連結子会社においては、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後に実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しています。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しています。

②たな卸資産の評価基準及び評価方法の変更

通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として総平均法による原価法によりましたが、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、主として総平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しています。

これによる損益に与える影響はありません。

③「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用

第1四半期連結会計期間により、「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第18号 平成18年5月17日）を適用し、連結決算上必要な修正を行っています。

これによる損益に与える影響はありません。

④リース取引に関する会計基準の適用

所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっていましたが、「リース取引に関する会計基準」（企業会計基準第13号（平成5年6月17日（企業会計審議会第一部会）、平成19年3月30日改正））及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第16号（平成6年1月18日（日本公認会計士協会 会計制度委員会）、平成19年3月30日改正））が平成20年4月1日以後開始する連結会計年度に係る四半期連結財務諸表から適用することができることになったことに伴い、第1四半期連結会計期間からこれらの会計基準等を適用し、通常の売買取引に係る会計処理によっています。また、所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産の減価償却の方法については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しています。

なお、リース取引開始日が適用初年度前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を引き続き採用しています。

これによる損益に与える影響はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,446,040	2,474,641
受取手形及び売掛金	742,044	1,038,038
商品	827,956	607,218
製品	70,596	38,767
原材料	540,713	464,102
仕掛品	68,060	61,632
繰延税金資産	123,999	127,731
その他	162,239	217,666
貸倒引当金	8,349	9,628
流動資産合計	4,973,302	5,020,170
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,155,117	3,071,857
減価償却累計額	993,524	909,610
建物及び構築物(純額)	2,161,593	2,162,247
機械装置及び運搬具	914,974	903,801
減価償却累計額	547,134	483,721
機械装置及び運搬具(純額)	367,839	420,079
工具、器具及び備品	570,892	552,201
減価償却累計額	391,434	347,043
工具、器具及び備品(純額)	179,458	205,158
土地	1,877,725	1,866,712
建設仮勘定	29,911	34,675
有形固定資産合計	4,616,527	4,688,873
無形固定資産		
その他	175,011	201,150
無形固定資産合計	175,011	201,150
投資その他の資産		
繰延税金資産	97,993	90,299
その他	486,101	497,317
貸倒引当金	15,050	15,050
投資その他の資産合計	569,044	572,566
固定資産合計	5,360,583	5,462,589
資産合計	10,333,885	10,482,760

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	479,122	313,915
短期借入金	1,822,426	1,562,640
1年内返済予定の長期借入金	588,202	695,860
未払金	472,831	664,437
未払法人税等	91,429	89,302
賞与引当金	87,396	82,645
ポイント引当金	131,399	127,913
その他	113,148	116,818
流動負債合計	3,785,956	3,653,532
固定負債		
長期借入金	1,422,684	1,677,626
退職給付引当金	65,057	60,527
役員退職慰労引当金	154,154	150,389
その他	32,879	40,233
固定負債合計	1,674,775	1,928,776
負債合計	5,460,732	5,582,309
純資産の部		
株主資本		
資本金	696,450	696,450
資本剰余金	812,570	812,570
利益剰余金	3,274,897	3,312,022
自己株式	400	400
株主資本合計	4,783,517	4,820,642
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	321	94
為替換算調整勘定	6,886	3,160
評価・換算差額等合計	6,565	3,255
少数株主持分	83,070	76,553
純資産合計	4,873,153	4,900,451
負債純資産合計	10,333,885	10,482,760

(2) 四半期連結損益計算書
(第 2 四半期連結累計期間)

(単位 : 千円)

	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成20年 4 月 1 日 至 平成20年 9 月30日)
売上高	5,101,522
売上原価	1,118,148
売上総利益	3,983,374
販売費及び一般管理費	3,807,402
営業利益	175,971
営業外収益	
受取利息	2,061
受取配当金	217
受取賃貸料	22,361
その他	6,857
営業外収益合計	31,498
営業外費用	
支払利息	33,763
その他	14,195
営業外費用合計	47,959
経常利益	159,510
特別利益	
貸倒引当金戻入額	1,278
固定資産売却益	233
債務免除益	2,944
特別利益合計	4,456
特別損失	
固定資産除却損	1,343
たな卸資産廃棄損	5,984
リース解約損	10,633
その他	9,128
特別損失合計	27,089
税金等調整前四半期純利益	136,878
法人税、住民税及び事業税	86,746
法人税等調整額	564
法人税等合計	86,181
少数株主利益	9,141
四半期純利益	41,555

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間
 (自平成20年4月1日
 至平成20年9月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	136,878
減価償却費	233,800
引当金の増減額(は減少)	15,254
受取利息及び受取配当金	2,278
支払利息	33,763
固定資産売却損益(は益)	233
固定資産除却損	1,343
売上債権の増減額(は増加)	300,779
たな卸資産の増減額(は増加)	331,970
仕入債務の増減額(は減少)	165,238
未払債務の増減額(は減少)	105,827
未払又は未収消費税等の増減額	28,156
その他	16,577
小計	458,328
利息及び配当金の受取額	2,273
利息の支払額	34,099
法人税等の支払額	89,403
法人税等の還付額	34,874
営業活動によるキャッシュ・フロー	371,972
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の増減額(は増加)	7,464
子会社株式の取得による支出	100
有形固定資産の取得による支出	211,679
無形固定資産の取得による支出	4,937
長期前払費用の取得による支出	3,915
差入保証金の差入による支出	207
差入保証金の回収による収入	880
その他	1,451
投資活動によるキャッシュ・フロー	213,946
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(は減少)	259,785
長期借入金の返済による支出	360,083
割賦債務の返済による支出	2,120
配当金の支払額	78,067
財務活動によるキャッシュ・フロー	180,486
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,261
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	21,198
現金及び現金同等物の期首残高	2,422,158
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,400,960

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しています。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しています。

（4）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（5）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表

(1) 中間連結損益計算書

区分	前中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)	
	金額 (千円)	百分比 (%)
I 売上高		5,098,356 100.0
II 売上原価		1,000,173 19.6
売上総利益		4,098,183 80.4
III 販売費及び一般管理費		4,066,684 79.8
営業利益		31,498 0.6
IV 営業外収益		
1. 受取利息	2,007	
2. 受取配当金	384	
3. 持分法による投資利益	57	
4. 受取賃貸料	28,384	
5. 受取損害金	6,979	
6. その他	1,773	39,586 0.8
V 営業外費用		
1. 支払利息	37,121	
2. 賃貸関連費用	10,000	
3. その他	4,533	51,655 1.0
経常利益		19,429 0.4
VI 特別利益		
1. 貸倒引当金戻入益	2,325	
2. 投資有価証券売却益	5,280	
3. その他	450	8,055 0.2
VII 特別損失		
1. 固定資産除却損	3,122	
2. 投資有価証券売却損	445	
3. たな卸廃棄損	14,298	
4. 和解金	5,000	22,866 0.5
税金等調整前中間純利益		4,618 0.1
法人税、住民税及び事業税	80,100	80,100 1.6
少数株主損失 (△)		△1,950 △0.1
中間純損失 (△)		△73,531 △1.4

(2) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

	前中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)
区分	金額 (千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前中間純利益	4,618
減価償却費	173,526
引当金の増加額	21,213
受取利息及び受取配当金	△2,391
支払利息	37,121
投資有価証券売却損益	△4,834
固定資産除却損	3,122
売上債権の減少額	230,108
たな卸資産の増加額	△244,427
仕入債務の減少額	△41,033
未払債務の減少額	△124,444
未払及び未収消費税等の増減額	△67,175
その他	14,544
小計	△49
利息及び配当金の受取額	2,115
利息の支払額	△37,297
法人税等の支払額	△218,101
営業活動によるキャッシュ・フロー	△253,333
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の純増加額	△6,300
投資有価証券の取得による支出	△949
投資有価証券の売却による収入	37,028
有形固定資産の取得による支出	△527,113
無形固定資産の取得による支出	△110,546
短期貸付けによる支出	△9,000
長期前払費用の支出	△3,302
差入保証金の差入による支出	△5,519
差入保証金の返還による収入	150
その他	△1,800
投資活動によるキャッシュ・フロー	△627,352
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増加額	621,668
長期借入れによる収入	60,000
長期借入金の返済による支出	△264,231
割賦債務の支払額	△4,873
配当金の支払額	△58,550
財務活動によるキャッシュ・フロー	354,012
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	422
V 現金及び現金同等物の減少額	△526,250
VI 現金及び現金同等物の期首残高	3,132,467
VII 現金及び現金同等物の中間期末残高	2,606,216